



特定健診・特定保健指導を受けましょう！

日本人の死因の約6割はがん・心臓病・脳卒中などの生活習慣病であり、また国民の医療費の約5割は、これらに糖尿病とその合併症（腎臓病）などを加えたものになっています。これらの生活習慣病の発症には【メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）】が大きく関与しています。

特定健診・特定保健指導が始まりました！

平成20年4月から、メタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導が始まりました。

●実施主体が市町村から医療保険者（健康保険組合等）へ変わりました●

40～74歳の医療保険加入者（扶養家族を含む）は、市町村が実施してきた基本健診に代わり、自身が加入する医療保険者が行う特定健診・特定保健指導を受けることになります。

●健診結果に応じて特定保健指導が実施されます●

健診の結果、メタボリックシンドロームの危険性が高い方に対し、ご本人に適した保健指導が行われるようになります。

特定健診

結果に基づき

生活習慣の改善の必要性が低い人⇒情報提供

生活習慣の改善がやや必要な人⇒動機付け支援

生活習慣の改善が必要な人⇒積極的支援

危険因子が重なることで、命にかかわる虚血性心疾患や脳血管疾患を引き起こすリスクが高くなります。せっかく受けた健康診査を生かすにはきちんとしたフォローが必要です。特定保健指導は、生活習慣の改善の必要度に応じて、医師・保健師・栄養士による保健指導を行うものです。健康の維持・改善のために必ず受けてください。

※健診診査（特定健診）内容については、ご加入の医療保険者（健康保険組合等）にご確認ください。

※各種がん検診についての詳しい内容は、保健カレンダーP27～28をご参照ください。

※健診を受診し、生活習慣病を予防することは、ご自身の健康を守り、高齢社会における医療費の増加も防ぎます。年に1回は、必ず受診しましょう。

笠間のがんばる企業紹介⑨

笠間市には、全国でもトップクラスの技術を持つ企業がたくさんあります。このコーナーでは、より良い製品づくりを目指して研究・開発に取り組む市内の企業を紹介します。

稲本マシンツール工業(株)

日本のものづくりを支える「自動機械」。自動機械とは、生産ラインの自動化のことで、これにより、少人化・省力化することができ、製品コストを大幅に抑えることができます。泉地内で活躍する稲本マシンツール工業(株)は、自動機械の設計・製作と、精密部品の製造を行う会社です。同社の特徴は設計から部品加工、組立、制御、検査の工程を全て請け負うことで、信頼性の高いそして高品質の製品及びサービス提供を可能としているところです。昨年10月には、品質マネジメントシステム国際規格ISO9001:2000認証を取得しました。いわば、品質に関する国際的なお墨付きを得たということになります。

稲垣繁實代表取締役は、「多くの顧客に支持される製品ができるのは、優れた社員たちがいるからです。経営理念にも品性を人的資本の中心に掲げている」と語ります。「品性」は道徳的な心遣いとい行いを毎日積み重ねることで培われる道徳的能力です。「企業には、変わるべき部分と、変わってはいけない部分があります。事業の内容や規模はその時代に合わせて変化しますが、顧客のニーズに応えること、地

域に貢献すること、社員教育により人間力を高めることは、いつの時代も忘れてはならない企業の使命です。これからも、顧客・地域・社員が共に発展する『三方良し』の経営で、社会に貢献する企業を目指してまいります。（同代表取締役）



合気道7段の稲垣社長



自動機械

稲本マシンツール工業(株)
従業員数▼30人
敷地面積▼1,916㎡
※文責▽笠間市役所企業誘致推進室（内線228）